

南地区で「移送ボランティア養成講座」開催

「ボランティアセミナー」でもハンディキャブ活動を紹介

去る7月12日(水)、東林公民館で「東林いきいき塾“移送ボランティア養成講座”」(主催:東林地区社会福祉協議会)が開かれました。福祉車両(11号車)の操作説明も含めハンディキャブ活動の紹介を行い、活動への参加を呼びかけました。その結果、受講者の中から1名の方が活動に参加されることになりました。講師として吉留副会長・杉本理事・児玉ハンディキャブ委員が担当しました。

その翌日の7月13日(木)には、南保健福祉センターで行われた「ボランティアセミナー」(主催:南ボランティアセンター)で、同様にハンディキャブ活動の紹介を行いました。

ハンディキャブを
たのむ

二つのポスターは、各主催者団体より提供いただいたものです

東林いきいき塾 **移送ボランティア養成講座**
 <ハンディキャブ号運行ボランティア>

日時 平成29年7月12日(水)
 午後1時30分～午後3時30分

会場 東林公民館 1階 ホール

講師 特定非営利活動法人
 相模原ボランティア協会
 ◆講義 午後1時30分～
 ～必要性と現状～
 ◆操作実習 午後2時30分～
 ～車いすと福祉車両の操作実習～

対象 テーマに興味関心のある方 10名(先着順)

お問い合わせ・お申し込み
 東林地区社会福祉協議会(平日9:00～17:00)電話 744-5187



ボランティアセミナー
 初心者大歓迎!

★ボランティア活動を試してみたい
 ★自分に出来ることで役立つことをしたい
 ★自分の地域をもっとよく知りたい!

特別な技術や資格はいらないよ!みんなの力が一番大事なんだ!

日時: 7月13日(木)
 午後1時～3時30分

場所: 情報交換ルーム
 (南保健福祉センター2階)

内容: ボランティアってなあに?(基礎編)
 南ボランティアセンターの活動紹介 など



★申込み・問合せ★相模原市社会福祉協議会
 南ボランティアセンター ☎042-765-7085

車両整備 10号車

ガタガタ音解消

昨年11月頃から、10号車のリフト付近から比較的大きな「ガタガタ音」が出始めました。その後業者による点検など行ってきましたが、はっきりとした原因を特定できませんでした。

本年4月になって、東原さんによって「リフト床面に収納されている車いす固定用フックが、車の振動で収納スペースの底板に当たる音では?」との推定の基に、収納スペースの底板にスポンジを貼りました。

その後現在まで「ガタガタ音」は完全に解消されました。



仲間 ハンディキャブ委員会に参加して

ひであき 児玉英明 (平成29年7月)

今年の初め、ハンディキャブ委員会の方より要請を受けて、委員会のメンバーとして参加することになりました。運転者の立場で少しでも問題の共有化や情報交換などできれば、と、微力ながら協力したいと思っています。

現在、委員会では大きなテーマ(課題)がいくつかありますが、その一つに私を含め運転者の高齢化により、交替要員の不足が上げられています。近年高齢運転者による交通事故が多発しており、当協会としても他人ごとではなく、若い運転者の参加が喫緊の課題となっています。

報道によると、75歳以上の運転免許保有者は昨年末時点で、513万人。10年前の2倍とのこと。また、死亡事故のうち75歳以上による事故の割合は、2010年時10%が昨年は13.5%に増加しています。

このような背景などもあって、去る7月12日東林公民館において地区社協のご協力のもと、「東林いきいき塾:移送ボランティア養成講座」が開催され、何人かの方が参加されました。新会員の入会を願っています。

今後、公的福祉サービスの現状を考えると、ハンディキャブのある高齢者の移動困難者が増加することが予想されます。当面はそのような方々に少しでもお役にたてるよう、残り少ない任期ですが、一人のボランティアとして活動できればと思っています。